

工事申請日 **R7** 年 **4** 月 **1** 日

給水装置工事申請・設計書

着色している部分を入力してください。

○工事の内容を二重線枠内に記入・チェックをしてください。

○申請者は、右側の誓約事項の内容を承諾したうえで、「委任状（様式第1号（第3条関係））」を当申請書に添付してください。

○指定給水装置工事事業者は、申請者に工事内容、使用材料等について説明を行ってください。給水装置工事竣工後は、竣工図面を申請者に説明・交付してください。

工事箇所	装置場所	鹿児島市鴨池新町1-10							
	方書								
申請者（所有者）	住所	鹿児島市鴨池新町1-10							
	フリガナ	スイドウ タロウ							
	氏名	水道 太郎							
※2件以上申請の場合は「別記」と記載し、連番表を添付すること									
(給) 団地コード		給水装置番号							
01 一般		第	1	2	3	4	5	6	号
(排) 団地コード		排水設備番号							
51 一般		第	1	2	3	4	5	6	号
お客様番号		-							
申請概要	建築種別	<input checked="" type="checkbox"/> 新築 <input type="checkbox"/> 既存 <input type="checkbox"/> その他(解体・工事用水等)							
	建物概要								
	<input checked="" type="checkbox"/> 一般住宅 <input type="checkbox"/> 共同住宅 <input type="checkbox"/> その他(下記に詳細を記入)								
	その他の場合								
屋号						業態			
建物階数		地上 2 階建		地下		階建			
申請(所有)者が市外在住		市外管理人届提出済 <input type="checkbox"/>							
受水槽・高置水槽		設置		受水槽管理人届提出済 <input type="checkbox"/>					
		撤去		受水槽撤去届提出済 <input type="checkbox"/>					
受水槽		全容量	m ³		有効容量	m ³			
受水槽		全容量	m ³		有効容量	m ³			
休止届提出済 <input type="checkbox"/>		廃止		廃止届提出済 <input type="checkbox"/>					
関係者確認		利害関係者確認書類提出済 <input type="checkbox"/>							
他届 ()		<input type="checkbox"/>							
月 日		竣工予定		R7 年 12 月 20 日					
月 日		図面整理		年 月 日					

【給水装置番号・排水設備番号について】

- ・改造工事のときのみ記入してください。
- ・団地コードの名称が不明な場合は空欄で可

団地コード例	
給水	排水
01 一般	51 一般
20 一般	70 一般
36 一般	81 一般
13 松元	91 松元(地域下水道) ※地域下水道区域のみ
16 さくらじま	-
27 喜入	-
40 吉田	92 吉田(地域下水道) ※地域下水道区域のみ
43 郡山	-

- ・2件以上申請する場合は、「別記」と記入して、図面様式に連番表を添付してください。

(給) 団地コード	給水装置番号					
別記	第		別記			号
(排) 団地コード	排水設備番号					
別記	第		別記			号

【注意事項】

- ・当様式と図面様式はA3の横方向です。印刷設定には十分ご注意ください。
- ・工事申請時、当申請書とは別に「委任状（給水用）」が必要です。

(誓約事項)

- 1 この給水装置について第三者から異議の申し立てを受けたときは、申請者の責任において解決いたします。
- 2 水道メーターおよび給水装置は、条例にしたがい適切に保管および管理いたします。
- 3 当該給水装置に起因する問題が生じた場合は、申請者が責任を持って解決し、水道局に一切責任を負わせません。
- 4 給水装置の所有者・管理人・維持管理業者に変更があった場合はこの誓約事項を継承し、すみやかに水道局へ届け出ます。
- 5 竣工後は、指定給水装置工事事業者から竣工図を基に説明を受け、施行内容について確認します。

【3階直結給水を行う場合の誓約】

- 3階直結給水基準に定めるもののほか下記の事項を誓約します。
- 1 使用形態や使用水量の変更等により水圧低下や水量不足が生じた場合は、自己の費用負担で受水槽の設置など、必要な改善を行います。

【直結増圧式給水を行う場合の誓約】

- 直結増圧式給水設計施行基準に定めるもののほか下記の事項を誓約します。
- 1 直結増圧式給水装置について次のような特徴を理解し、入居者（使用者）に周知させるとともに、直結増圧式給水装置について問題が生じたときは当方で処理します。
 - (1) 停電や故障等により増圧ポンプが停止したときは、直結用給水栓を使用します。□
 - (2) 直結増圧式給水装置を設置した場合、受水槽のような貯留機能がないため、水道局の配水本管工事及びメーター取替作業等の計画的および緊急の断水時には水の使用が出来なくなることを承諾します。また、計画的および緊急の断水に起因する損害が発生しても、水道局に一切責任を負わせません。
 - (3) 断水等、連絡が取れる体制を整え、使用者等への周知及び断水対応等については当方にて責任をもって行います。
- 2 増圧装置および減圧式逆流防止器は、年一回以上の保守点検を行うとともに、必要な維持管理を行います。
- 3 緊急時に迅速かつ的確な対応が図れるように、ポンプ室及び管理人室等に緊急時連絡先の記入した表示板を設置し、増圧装置には警報装置または電話回線を利用した24時間監視装置等を設置します。
- 4 直結増圧式給水装置に起因して、逆流または漏水等が発生し、水道局若しくはその他の使用者等に損害を与えた場合は、責任をもって補償します。
- 5 水道局貸与メーターから下流側（宅地側）漏水などが発生した場合、入居者（使用者）、申請者および管理人により速やかに適切に対処します。
- 6 上記各項の条件を入居者（使用者）に周知徹底させ、直結増圧給水装置に起因する紛争等については、当事者間で解決し、水道局に一切責任を負わせません。

【特例直結直圧式給水を行う場合の誓約】

- 増圧装置の設置を猶予する特例に関する基準に定めるもののほか下記の事項を誓約します。
- 1 当該建物の階数、使用水量、配水管の水圧、その他の事情により給水上の支障が生じた場合またはおそれがある場合は、あらかじめ確保したスペースに増圧装置、減圧式逆流防止器および直圧用共用栓を設置します。なお、その際には、水道局へ給水装置工事の申請を行います。
- 2 水道局の本管工事もしくはメーター取替作業等の計画的工事または緊急工事等によって断水になる場合には、水の使用ができないことを当方にて使用者へ周知します。
- 3 特例直結直圧式給水に起因して、逆流または漏水が発生し、水道局もしくはその他の使用者に損害を与えた場合は、当方にて責任を持って補償します。
- 4 出水不良が生じた際に、増圧装置が設置されていないことに起因する給水の支障およびこれに伴う損害、ならびに増圧装置の設置費用に関して、水道局に一切責任を負わせません。

【特定施設スプリンクラー設備を設置する場合の誓約】

- 1 災害・その他正当な理由（制限給水時、事故時、水道施設の工事等）によって、一時的な断水や水圧低下により、当該スプリンクラー設備の性能が十分発揮されない状況が生じても、水道局に一切責任を負わせません。
- 2 当該スプリンクラー設備の、火災時以外における作動および火災時に非作動が生じても、水道局に一切責任を負わせません。
- 3 当該スプリンクラー設備の維持管理上の必要事項および連絡先を、所有者にて見やすいところに表示します。
- 4 当該スプリンクラー設備が設置された家屋、部屋を賃貸する場合には、本設備は条件付であることを賃借人に熟知させます。
- 5 当該スプリンクラー設備の所有者を変更するときは、上記事項について譲受人に継承するとともに、新所有者より水道局へ所有者の変更届および承諾書を提出させます。
- 6 消防法の規定に基づく着工届出書との内容確認のため、給水装置工事申請設計書の写しを消防局に送付することに同意します。

【タンクレストイレを設置する場合の誓約】

- タンクレストイレの水圧不足に伴う排水不良については、タンクレストイレの取替等当方にて対処します。

私（工事申請者）は、給水負担金、設計審査手数料および工事検査手数料並びに給水契約について、鹿児島市給水条例施行規程が契約の内容であることに合意し、上記誓約事項について承諾した上で、同条例第4条の規定により給水装置工事を申請いたします。

←左側の点線は、折り曲げガイドです。工事申請時は、この線で山折りしてください。

【誓約事項について】

- ・申請するにあたり、申請者が誓約する内容が記載されています。
- ・指定工事店はこの誓約事項について、申請者に説明を行ってください。

(工事承認の範囲) 工事の承認は申請による構造および材質について行う。
 (個人情報の取り扱いについて)
 水道局は、この申請書に記載される情報を、主に次の目的のために必要とするものに提供します。
 ・お客様からのご相談、お問い合わせの参考とするため。 ・改造や解体等の設備工事の参考とするため。
 ・水道メーターの取替、漏水修繕工事などの参考とするため。



鹿児島市水道事業及び公共下水道事業管理者 殿

委任状

私（工事申請者）は、給水装置工事の申請、工事施行およびその他工事に関する一切の事項を下記指定給水装置工事事業者に委任いたします。

【注意事項】
・当様式はA4の縦方向です。
印刷設定には十分ご注意ください。
・工事申請時、当委任状とは別に「給水工事申請・設計書」が必要です。

着色している部分を入力してください。
※工事申請者は、記名押印または自署が必要です。

（太枠内に記入してください）

委任日	R7年 3月 20日			
工事申請者（委任者）		指定給水装置工事事業者		
住所	鹿児島市鴨池新町1-10		住所	鹿児島市〇〇町〇〇-〇
氏名	水道 太郎		会社名 代表者	△△設備株式会社 代表取締役 下水道 太郎
工事箇所	鹿児島市鴨池新町1-10 <small>（記名押印または自署）</small>			

※申請者が法人の場合は、氏名欄にその名称及び代表者の氏名を記入してください。

工事申請日 **R7** 年 **4** 月 **1** 日

排水設備工事申請・設計書

着色している部分を入力してください。

○工事の内容を二重線枠内に記入・チェックをしてください。

○申請者は、右側の誓約事項の内容を承諾したうえで、「委任状（様式第1号（第4条関係））」を当申請書に添付してください。

○指定排水設備工事事業者は、申請者に工事内容、使用材料等について説明を行ってください。排水設備工事竣工後は、竣工図面を申請者に説明・交付してください。

工事箇所	設備場所	鹿児島市鴨池新町1-10			
	方書				
申請（所有者）	住所	鹿児島市鴨池新町1-10			
	フリガナ	スイドウ タロウ			
申請概要	氏名	水道 太郎			
	建築種別	<input checked="" type="checkbox"/> 新築 <input type="checkbox"/> 既存 <input type="checkbox"/> その他(解体・工事用水等) 建物概要 <input checked="" type="checkbox"/> 一般住宅 <input type="checkbox"/> 共同住宅 <input type="checkbox"/> その他(下記に詳細を記入) その他の場合			
※2件以上申請の場合は「別記」と記載し、連番表を添付すること		屋号		業態	
(給) 団地コード	給水装置番号				
01 一般	第	1	2	3	4
(排) 団地コード	排水設備番号				
51 一般	第	1	2	3	4
お客様番号	-				
提出書類	指定排水設備	住所会社名代表者	鹿児島市〇〇町〇〇-〇 △△設備株式会社 代表取締役 下水道 太郎		
	指定番号	第	777	号	
申請概要	排水設備工事責任技術者	下水道 太郎			
提出書類	<input type="checkbox"/> 申請(所有)者が市外在住	市外管理人届提出済 <input type="checkbox"/>			
	<input type="checkbox"/> 排除汚水量認定	排除汚水量認定書提出済 <input type="checkbox"/>			
	<input type="checkbox"/> 休止	休止届提出済 <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 廃止	廃止届提出済 <input type="checkbox"/>	
	<input type="checkbox"/> 利害関係者確認	利害関係者確認書類提出済 <input type="checkbox"/>			
他届	() <input type="checkbox"/>				
係確認	年	月	日	担当	
施設	トランプ	<input type="checkbox"/> グリース	個	<input type="checkbox"/> 油水分離	個
		<input type="checkbox"/> ドラム	個	<input type="checkbox"/> 砂阻集器	個
		<input type="checkbox"/> プラスター	個	<input type="checkbox"/> 検水栓	個
		<input type="checkbox"/> ヘアー	個	<input type="checkbox"/> 排水槽	m ³
月	日	竣工予定		R7 年 12 月 20 日	
月	日	図面整理		年 月 日	

- 【給水装置番号・排水設備番号について】
- 改造工事のときのみ記入してください。
 - 団地コードの名称が不明な場合は空欄で可

団地コード例	
給水	排水
01 一般	51 一般
20 一般	70 一般
36 一般	81 一般
13 松元	91 松元(地域下水道) ※地域下水道区域のみ
16 さくらじま	-
27 喜入	-
40 吉田	92 吉田(地域下水道) ※地域下水道区域のみ
43 郡山	-

- 2件以上申請する場合は、「別記」と記入して、図面様式に連番表を添付してください。

(給) 団地コード	給水装置番号				
別記	第	別記			号
(排) 団地コード	排水設備番号				
別記	第	別記			号

- 【注意事項】
- 当様式と図面様式はA3の横方向です。印刷設定には十分ご注意ください。
 - 工事申請時、当申請書とは別に「委任状（排水用）」が必要です。

(誓約事項)

- この排水設備について第三者から異議の申し立てを受けたときは、申請者の責任において解決いたします。
- 排水設備は、条例にしたがい適切に保管および管理いたします。
- 当該排水設備に起因する問題が生じた場合は、申請者が責任を持って解決し、水道局に一切責任を負わせません。
- 排水設備の所有者・維持管理責任者に変更があった場合はこの誓約事項を継承し、すみやかに水道局へ届け出ます。
- 竣工後は、指定排水設備工事事業者から竣工図を基に説明を受け、施行内容について確認します。

【ディスポーザを設置する場合の誓約】

- ディスポーザ排水処理システムの維持管理責任者を選任します。
- 維持管理計画書に従い、適切にシステムの維持管理を行います。
- 専門の維持管理事業者と維持管理業務委託契約を締結し、その契約書の写しを管理者に提出します。
- 維持管理業務委託契約に基づき、専門の維持管理事業者が実施する保守点検に関する記録その他維持管理に関する資料を3年間保存します。
- 保守点検に関する記録その他維持管理に関する資料を管理者に年1回または管理者の求めに応じ提出します。
- システムの適切な維持管理を確保するため、管理者が行う立ち入り検査に協力し、指導に従います。
- 利用者の適正な維持管理への協力を取り付け、必要に応じシステムの適切な使用方法を指導します。
- 次に掲げる事項が発生した場合は、ディスポーザ排水処理システム取扱要綱第3条に準じ、速やかに管理者に関係書類を提出します。
 - システムの改造または撤去の工事をするとき。
 - システムの維持管理業者を変更するとき。
- システムを譲渡しようとするときは、当該譲渡人に対し、システムの適切な維持管理に関する地位を承継します。

【ディスポーザの維持管理業務委託契約書を工事申請時に添付できない場合の誓約】

私は、ディスポーザ排水処理システムを適切に維持管理するための専門の維持管理事業者との維持管理業務委託契約書の写しをシステムの使用開始前までに管理者に提出します。

【特殊排水継手方式を採用する場合の誓約】

特殊排水継手方式の採用にあたっては、製品仕様書および施工要領書等に基づき施工を行います。

私（工事申請者）は、上記誓約事項について承諾した上で、鹿児島市下水道条例第6条の規定により、排水設備工事申請を申請いたします。

←左側の点線は、折り曲げガイドです。工事申請時は、この線で山折りしてください。

【誓約事項について】

- 申請するにあたり、申請者が誓約する内容が記載されています。
- 指定工事店はこの誓約事項について、申請者に説明を行ってください。



鹿児島市水道事業及び公共下水道事業管理者 殿

委任状

私（工事申請者）は、排水設備工事の申請、工事施行およびその他工事に関する一切の事項を下記指定排水設備工事事業者に委任いたします。

【注意事項】

- 当様式はA4の縦方向です。印刷設定には十分ご注意ください。
- 工事申請時、当委任状とは別に「排水設備工事申請・設計書」が必要です。

着色している部分を入力してください。
※工事申請者は、記名押印または自署が必要です。

（太枠内に記入してください）

委任日	R7年 3月 20日		
工事申請者（委任者）		指定排水設備工事事業者	
住所	鹿児島市鴨池新町1-10	住所	鹿児島市〇〇町〇〇-〇
氏名	水道 太郎	会社名 代表者	△△設備株式会社 代表取締役 下水道 太郎
工事箇所	鹿児島市鴨池新町1-10		

※申請者が法人の場合は、氏名欄にその名称及び代表者の氏名を記入してください。

工事箇所	鹿児島市鴨池新町1-10			縮 尺					
申請者氏名	水道 太郎			☑ 1/100 □ 1/200 □ その他()					
				使用材料・器具（内訳）					
指定工事事業者	△△設備株式会社			名称	区分	形状寸法	単位	設計数量	精算数量
				PN		20	m	3.0	
受付	指定番号	第	777	号	HVP		20	m	14.0
	番号	年度	第	号	HVP		13	m	18.7
給水装置番号	01 一般	123456	号	サドル分水栓	100×20	個	1.0		
	51 一般			123456	号	ボール式伸縮止水栓	20×13	個	1.0
排水設備番号	123456	号	単式逆止弁	13	個	1			
			メーターBOX	20用	個	1			
お客様番号	水道メーター			雑材・継手		式	1		
				流し	13	個	1		
種類				シャワー	13	個	1		
口径				洗面	13	個	1		
番号				洋便器(LT)	13	個	1		
指針				洗濯	13	個	1		
有効期限				散水栓	13	個	1		
残留塩素	測定日	年	月	日	給湯器	20	個	1	
	濃度								
道路占用許可	期間	月	日	～	月	日			
	許可番号	第			号				
道路使用許可	道路種別	水給占		号					
	期間	月	日	～	月	日			
建築確認済証	許可日	R7	年	3	月	1	日		
	許可番号	第	123456789		号				
配水系統	水道局負担								
	名称	区分	形状寸法	単位	設計数量	精算数量			
3直区域	住宅地図番号	配管図番号							
内・外	99	-	A-1	999	-	99			
水道メーター	水道メーター			13mm	個	1			

【工事概要】



↑上側の点線は、折り曲げガイドです。工事申請時は、この線で山折りしてください。

図面の空いている部分に工事概要を記入してください。

【記入例】

- ・一般住宅新築の場合：「一般住宅（〇造〇階建）」
- ・共同住宅新築の場合：「共同住宅（〇造〇階建、住居〇戸、共用散水〇個）」
- ・メーター移設をする場合：「〇〇のため、メーター移設」

※審査時、追記や要約する場合があります。竣工時は、指示に従って修正をお願いします。

図面様式記入例（材料表あり）（当初設計）

着色している部分に入力・作図してください。※図面が入りきらない場合は、材料表なしの図面様式等を2枚目以降使用してください。

工事申請が2件以上の場合は、連番表を図面様式に貼り付けるか、水道局で配布している連番表を添付してください。

【材料表について】

○給水記入例は左側参照

○排水記入例

使用材料・器具（内訳）					
名称	区分	形状寸法	単位	設計数量	精算数量
VU		100	m	15.5	
VU		75	m	2.5	
VU		50	m	5.0	
VU		40	m	8.5	
VP		75	m	3.0	
VP		50	m	3.0	
アレスター		50	個	1	
COA		100	個	1	
COV		75	個	1	
COV		50	個	1	
各継手			式	1	
洋便器		75	個	1	
流し		50	個	1	
洗面		50	個	1	
洗濯		50	個	1	
ユニットバス		50	個	1	
雨排水			式	1	

※原則、上から使用材料・設置器具の順に記入すること
 ※設置器具については、器具名称（流し・シャワー・給湯器 用）と記入すること（アングル止水栓等は記入不要）
 ※特殊器具の逆止弁については計上不要だが、図面には表記すること

【注意事項】

・図面様式と申請書様式はA3の横方向です。印刷設定には十分ご注意ください。

位置図（北の方向を上・方位を記入）

【位置図の注意点】

○給水・排水家屋、施行路線、付近の状況、道路状況及び主要な建物を記入する。

○特に、付近の目標物になる施設（橋、バス停留所、公民館、交差点）の位置名称等を明確に図示する。

○給水管（給水の場合）・取付管（排水の場合）の取出し位置を明示する

竣工届	年	月	日
	技術者		

工事箇所	鹿児島市鴨池新町1-10		縮 尺 ☑ 1/100 □ 1/200 □ その他()					
申請者氏名	水道 太郎		使用材料・器具（内訳）					
指定工事業者	△△設備株式会社		名称	区分	形状寸法	単位	設計数量	精算数量
受付番号	R7	年度 第 999 号	PN		20	m	3.0	4.3
受付日	R7	年 4 月 3 日	HVP		20	m	14.0	15.0
給水装置番号	01 一般	123456	HVP		13	m	18.7	19.0
排水設備番号	51 一般	123456	サドル分水栓	100×20	個		1.0	1
お客様番号	1-999999		ボール式伸縮止水栓	20×13	個		1.0	1
種類	水道メーター		単式逆止弁	13	個		1	1
口径	OO 上水ネジ		メーターBOX	20用	個		1	1
番号	φ13		雑材・継手		式		1	1
指針	H-999999		流し	13	個		1	1
有効期限	0.3 ~		シャワー	13	個		1	1
残留塩素	測定日	R7 年 9 月 20 日	洗面	13	個		1	1
	濃度	0.3 mg/L	洋便器(LT)	13	個		1	1
道路占用許可	期間	4 月 10 日 ~ 6 月 20 日	洗濯	13	個		1	1
	許可番号	第 9999 号	散水栓	13	個		1	2
	道路種別	市道 水給占 999 号	給湯器	20	個		1	1
道路使用許可	期間	4 月 15 日 ~ 5 月 30 日	手洗器	13	個		0	1
	許可番号	第 1-9999 号						
建築確認済証	許可日	R7 年 3 月 1 日	水道局負担					
	許可番号	第 123456789 号	名称	区分	形状寸法	単位	設計数量	精算数量
配水系統	OO配水池系		水道メーター		13mm	個	1	
3直区域	住宅地図番号	配管図番号						
内・外	99 - A-1	999 - 99						

【工事概要】



↑上側の点線は、折り曲げガイドです。
竣工図提出時は、この線で山折りしてください。

【工事概要】

審査時や検査時に記入されている指示に従い、
図面の空いている部分に工事概要を記入してください。
(当初設計時から追記や削除する部分があります)

【記入例】

- ・一般住宅新築の場合：「一般住宅（〇造〇階建）」
- ・共同住宅新築の場合：「共同住宅（〇造〇階建、住居〇戸、共用散水〇個）」
- ・メーター移設をする場合：「〇〇のため、メーター移設」

【材料表について】

- 記入例は、「当初設計記入例」を参照。
- 精算数量を記入。
(設計数量を書き写している例が見られます。
必ず精算数量を確認してください。)

【各種情報について】

基本的に「当初設計図」や「検査図」に記載されている内容を参考に情報を記入してください。

○検査予約時までに追記する内容

- ・受付日、受付番号
- ・給水装置番号（新設や修正がある場合）
- ・排水設備番号（新設や修正がある場合）
- ・お客様番号（申請書や連番表を確認ください）
- ・道路占用情報（検査図に記入している場合）
- ・道路使用許可情報（検査図に記入している場合）
- ・配水系統（検査図に記入している場合）
- ・3直区域（検査図に記入している場合）
- ・精算数量
- ・竣工届欄（主任・責任技術者名と竣工届日）

○竣工検査後の竣工図修正時に追記する内容

- ・水道メーター
- ・残留塩素（検査図に記入している場合）

図面様式記入例（材料表あり）（竣工）

着色している部分に入力・作図してください。
※図面が入りきらない場合は、材料表なしの図面様式等を2枚目以降使用してください。

工事申請が2件以上の場合は、連番表を図面様式に貼り付けるか、水道局で配布している連番表を添付してください。

【注意事項】

- ・図面様式と申請書様式はA3の横方向です。
印刷設定には十分ご注意ください。

位置図（北の方向を上・方位を記入）

【位置図の注意点】

- 給水・排水家屋、施行路線、付近の状況、道路状況及び主要な建物を記入する。
- 特に、付近の目標物になる施設（橋、バス停留所、公民館、交差点）の位置名称等を明確に図示する。
- 給水管（給水の場合）・取付管（排水の場合）の取出し位置を明示する

